

教 育 研 究 業 績

2021年5月1日

氏名 長野 麻子

学位：博士（音楽学）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
教育学、芸術学	乳幼児の音楽教育、現代音楽、シュネーベル	
主要担当授業科目	音楽演習、基礎音楽Ⅰ・Ⅱ、子どもの文化と環境、保育内容研究（表現）、子どもの芸術文化Ⅱ、保育指導法演習（言葉と表現）、課題研究A・B	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 「基礎音楽Ⅰ・Ⅱ」	2015年4月～至現在	保育士資格、幼・小免取得のための音楽実技を習得する授業である。子どもの歌の弾き歌いを中心とするピアノ個人レッスンと楽典の講義の2本柱により、保育および教育現場で役立つ知識と技術を身に付けることができる。個々のレベルに応じた細やかな指導や初心者に分かり易い授業内容を心がけている。
「保育内容研究（表現）」	2015年4月～至現在	子どもの豊かな表現力を養うために、わらべうたや手遊び、呼吸や声のコミュニケーション、楽器による音遊びなど、身体や日常生活に即した乳幼児の音楽を研究し実践する授業である。これらを習得することで、乳幼児のための音楽の本質を理解し、指導に役立てることができる。
「子どもの文化と環境」	2015年4月～至現在	子どもを取り巻く文化と環境への知識と理解を深めるための授業である。わらべうた、伝承遊び、童謡、子どもの歌、絵本、紙芝居、おもちゃ、テレビ番組、アニメ、自然などを手がかりに子どもの文化と環境の特質、歴史、現代をめぐる状況を捉え、新たな提言を発することへと導く。
「子どもの身体表現Ⅰ・Ⅱ」	2016年4月～2018年7月	わらべうたやふれあい遊び、リトミックなど乳幼児のための音楽を習得し、実践および指導のための独自のプログラムを考案する授業である。さらに板橋区児童館との提携において、児童館の親子向けに遊びのプログラムを実施し、子育て支援の一環を担う。
「子どもの芸術文化Ⅰ・Ⅱ」	2016年4月～至現在	「音楽と視覚」をテーマに日常風景の音の絵の制作、音の紙芝居の制作、絵本制作などを行い、音楽と視覚の関係を多角的に理解することで、子どもの表現の指導に役立てる。
2 作成した教科書、教材 『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』（童心社）	2010年11月17日	「保育内容研究（表現）」および音楽のワークショップ等で用いている教材として、呼吸と声の表現を学び、楽しむものとして制作した絵本である。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 特になし		
4 実務の経験を有する者についての特記事項 東京都板橋区児童館における子育て支援活動	2016年5月～至現在	東京成徳大学子ども学部学生とともに板橋区「わくわくフェスタ」における学生スタッフとしての活動、板橋区児童館における子育て支援のためのイベント活動を実施している。
東京成徳大学子ども学部手作り絵本コンクール	2015年4月～至現在	東京成徳大学子ども学部の入試広報関連行事の一つとして、高校生および本学在校生を対象とした手作り絵本コンクールの企画、運営、審査、絵本教室の講師などを務めている。
成徳ミニコンサート	2015年4月～至現在	東京成徳大学子ども学部の行事として、年2回、学内向けに芸術プログラムに基づくコンサートの企画、運営を務めている。
親子で楽しむ土曜講座（立教女学院短期大学幼児教育研究所主催）	2009年4月～2015年3月	地域のための公開講座。成人のための歌唱講座や親子のふれあい講座などを企画、運営し、講師を務めた。

保育者のためのステップアップ講座（立教女学院短期大学幼児教育研究所主催）	2009年4月～2015年3月	保育者のための研修会。企画および音楽のワークショップについての分科会の講師を務めた。
立教女学院短期大学公開講座	2010年2月～2012年2月	地域のための公開講座。音楽のテーマに基づき、レクチャーコンサート、親子のふれあい講座を企画し、講師を務めた。
5 その他		

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項

事項	年月日	概要
1 資格、免許 中学校教諭専修免許（音楽、中専第10621号） 高等学校教諭専修免許（音楽、高専第10739号）	1998年3月 1998年3月	
2 特許等 なし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項 特になし		
4 その他		

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 「記譜法」『音の百科事典』	共著	2006年1月	丸善出版，338-346頁。	共著：岩宮眞一郎、大里俊晴、酒井博之、 <u>長野麻子</u> ほか107名。音に関わる事項を科学的、社会的、文化的側面から網羅した事典。このうちの「記譜法」の執筆を担当し、古今東西の記譜法文化を譜例とともに解説した。338-346頁。
2 『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』	共著	2010年11月	童心社	共著： <u>長野麻子</u> 作、 <u>長野ヒデ子</u> 絵。呼吸と声の自由な表現をテーマに音楽的アプローチから作られた絵本である。読者がページをめくりながら、実際に呼吸をしたり、さまざまな感情を帯びた発声を試みたりすることができ、これらの行為を通して、呼吸や声のコミュニケーションの面白さや大切さに気付くことができる。
3 『子どもの育ちと保育：環境・発達・かかわりを考える』	共著	2015年9月	金子書房	共著：牧野カツ子編、本田和子、大久保忠旦、内田伸子、 <u>長野麻子</u> ほか5名。5章「ことばと呼吸と音楽」を担当。宇都宮共和大学主催公開講座の内容をもとに、子どもを育むかかわり方を考える一つの方法として、ことば、呼吸、音楽の相互関係、それらを表現することの楽しさを実践とともに示した。101-120頁。

4『まんまん ぱっ!』	共著	2016年11月	童心社	共著：長野麻子 作、長野ヒデ子 絵。「赤ちゃんとのコミュニケーション」をテーマに、喃語に代表される乳児の言葉のもつ音楽的要素を視覚ともに描き、読み聞かせによって、乳幼児の共感を促すことを試みた絵本である。
5『不可思議的呼吸』	共著	2018年4月	廣西師範大学出版社、中国	共著：長野麻子 作、長野ヒデ子 絵、彭懿、周龍梅 訳。自著『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』（2010年、童心社）の中国語による翻訳版である。中国における児童書および日本の児童書の関心の高まりを背景に、本書の内容が呼吸や声を扱ったユニークな絵本として中国の出版社に注目され、中国語で出版されることとなった。
6『すっすっはっはっ しんこきゅう』	共著	2019年4月	童心社	共著：長野麻子 作、長野ヒデ子 絵。自著『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』（2010年、童心社）を紙芝居の脚本と画面に再編した作品。新学期や新生活の始まりに際し、健やかな生活が送れるように、呼吸と声に意識し、それらを基盤とする感情表現の大切さを、伝えている。参加型紙芝居として、演者が観客を促し、場面ごとにさまざまな呼吸や声の表現が生じることが特徴である。
(学術論文) 1『シュネーベルにおける「伝統」の問題—《TRADITION》、《RE-VISIONEN》シリーズの1970年代の作品を中心に—』	単著	1998年3月	東京芸術大学 修士論文	ドイツの現代音楽の作曲家シュネーベルの作品と「伝統」の関わりを思想と作品分析、ポストモダンの点から検証した。ドイツの現代音楽の作曲家シュネーベルの作品と「伝統」の関わりを思想と作品分析、ポストモダンの点から検証した。
2「シュネーベルにおける『伝統』の問題—《TRADITION》、《RE-VISIONEN》シリーズの成立と理念—」	単著	2000年8月	『音楽学』（日本音楽学会） 第46巻1号、 54-70頁。	ドイツの現代音楽の作曲家シュネーベルの作品と「伝統」の関わりを論じた修士論文を要約し、作品の成立の背景にある理念と作品分析に焦点を当てて論じた。
3『音楽と身体—シュネーベルの創作における音声と身振りの考察—』	単著	2007年3月	東京芸術大学 博士論文	シュネーベルの創作の中心である身体にまつわる表現の音楽的意義を明らかにしようと、主要な作品を成立年代順に分析し、彼の言説を拠所に、神学、歴史批判の点から検証した。
4「子育て支援としてのわらべうた—指導の意義と成果 未就園児親子を対象とした実践報告」	共著	2010年1月	『聖公会保育』（聖公会保育連盟）第16号、11-22頁。	共著：齊木美紀子、今川恭子、長野麻子。立教女学院短期大学幼児教育研究所主催の公開講座「土曜講座」におけるわらべうたの実践をまとめ、その報告を行った。21-22頁。
5「歌うとは何か?—幼児の歌唱教育における問題点と提言—」	単著	2010年2月	『立教女学院短期大学紀要』第41号、	保育現場を中心とした慣習的な歌唱のあり方への疑問を出発点に、音楽の本質を捉え直し、呼吸や声の自由な表現

			37-50 頁.	の意義を実践報告とともに提言した。
6「音楽の言葉で表現すること—保育者養成における『表現』の取り組み—」	単著	2011年2月	『立教女学院短期大学紀要』第42号, 83-99頁.	保育者養成の科目「保育内容研究(表現)」に求められる指導内容を「表現とは何か?」の視点から、実践報告とともに提言した。
7「東京成徳大学子ども学部の地域の子育て支援の試み—板橋区児童館での活動を通して—」	共著	2017年3月	『東京成徳大学子ども学部紀要』第6号, 33-53頁.	共著:長野麻子、岡千春。東京都板橋区と東京成徳大学子ども学部の連携のため、提案、実施した子育て支援プログラムの理念および実践計画と成果について報告し、考察したもの。
8「子どもと自然—いわむらかずおの『14ひきのシリーズ』と絵本の丘美術館についての考察—第1部:『14ひきのシリーズ』のテーマ」	単著	2017年12月	『東京成徳大学子ども学部紀要』第7号, 25-48頁.	いわむらかずおの絵本『14ひきのシリーズ』とその創作の背景となる「いわむらかずお絵本の丘美術館」を考察し、子どもと自然の関わり的重要性を探る研究の第1部である。『14ひきのシリーズ』のテーマである「家族」と「自然」、それらの根底にあるいわむらの原風景をいわむらへの取材を手掛かりに明らかにした。
(その他:①演奏) 1 シュネーベル 《Maulwerke》 《Körper-Sprache》	共著	2010年12月	『eX.15 シュネーベル研究』eX.主催. (東京)	シュネーベルの生誕80歳を記念し、企画、監修、解説および出演した演奏会である。足立智美、田井智紀、中川俊郎、山根明季子とともに身体のパフォーマンスの上演に出演した。
2《花》《おぼろ月夜》《この道》 《待ちぼうけ》他全14曲	共著	2013年4月	『えほんの丘ちいさな音楽会』いわむらかずお絵本の丘美術館主催. (栃木)	いわむらかずお絵本の丘美術館の春の行事として、池田直樹(バリトン)、池田早苗(ソプラノ)による日本・世界歌曲のピアノ伴奏を行った。
3《みわたせば》《浜辺の歌》《ぞうさん》 《やぎさんゆうびん》他全17曲	共著	2014年4月	『えほんの丘ちいさな音楽会』いわむらかずお絵本の丘美術館主催. (栃木)	いわむらかずお絵本の丘美術館の春の行事として、池田直樹(バリトン)、池田早苗(ソプラノ)による日本・世界歌曲のピアノ伴奏を行った。
(その他:②学会発表) 1「シュネーベルにおける『伝統』の問題—《TRADITION》、 《RE-VISIONEN》シリーズの1970年代の作品を中心に—」	単著	1998年4月	日本音楽学会関東支部第269回例会(東京)	修士論文の口頭発表。優秀論文として学会の推薦により発表を行った。
2「音楽における身体の意義—D. シュネーベルの《Maulwerke》と《Körper-Sprache》」	単著	2005年10月	日本音楽学会第56回全国大会(東京)	博士論文における研究の中間報告としてシュネーベルの主要な2つの音楽劇の分析結果を報告した。
3「シュネーベルの音楽思想—音楽劇の創作にみる身体の表現をめぐる—」	単著	2008年10月	日本音楽学会第59回全国大会(東京)	博士論文における研究の一部として、シュネーベルの思想の点から音楽劇作品における身体表現の意義を論じた。
4「歌うとは?—幼児教育における歌唱とその指導について—」	単著	2010年5月	日本保育学会第63回大会(愛媛)	保育者養成および保育現場における歌唱教育を見直し、呼吸や声の自由な表現の意義を実践報告とともに提言し、ポスター発表を行った。

5「シュネーベルの《マウルヴェルケ Maulwerke》とその教育的価値について—非伝統的歌唱教育の視点から—」	単著	2010年9月	日本音楽教育学会第41回大会（埼玉）	呼吸と声、身振りのためのシュネーベルの音楽劇を教育的視点から捉え直し、保育者養成および保育現場において応用することを提言した。
6「シュネーベル《声のために（…ミサは終われり）》再考—現代音楽における歴史と宗教の問い—」	単著	2010年11月	日本音楽学会第61回全国大会（愛知）	シュネーベルの宗教作品とその音楽思想を世俗化の神学と歴史批判の点から分析、考察し発表した。
7「呼吸する絵本—『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』制作プロセス—」	単著	2011年5月	日本保育学会第64回大会（東京）	自著『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の意義を制作プロセスの報告とともにポスター発表を行った。
8「絵本をいかに読むか？—『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』における呼吸と声の意味—」	単著	2011年6月	絵本学会第14回大会（東京）	自著『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の解釈および読み方を解説し、音楽と絵本の双方にとって重要な呼吸と声の意義を発表した。
9「赤ちゃん絵本に求められるものとは？—『まんまんぱっ!』の制作現場から—」	単著	2017年5月	絵本学会第20回大会（神奈川）	赤ちゃんの言葉とコミュニケーションをテーマに創作した自著『まんまんぱっ!』の制作意図と赤ちゃん絵本としての新たな意義を言葉と音楽、視覚の関係性の視点から発表した。
10「絵本から幼年童話へ」	共著	2017年5月	絵本学会第20回大会（神奈川）	日本児童文学学会、日本イギリス児童文学学会、絵本学会の合同企画によるラウンドテーブルで、佐々木由美子、竹内美紀、藤本朝巳、長野ヒデ子とともに、幼年童話の特質と重要性について問題提起と討論を行った。
11「『14ひきのシリーズ』のテーマと原点へのアプローチ—いわむらかずおが伝えるものとは—」	単著	2018年6月	絵本学会第21回大会（北海道）	いわむらかずおの絵本『14ひきのシリーズ』のテーマである「家族」と「自然」に着目し、いわむらの幼少期と創作の関連を明らかにし、作品のより深い理解と解釈を提起した。
12「絵本から生まれる音楽—子どもの表現活動における呼吸や声の多様なコミュニケーションを求めて」	単著	2017年10月	音楽教育学会第48回大会（愛知）	自著『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』と『まんまんぱっ!』が意図する呼吸や声の多様なコミュニケーションを、絵本という視覚的媒体から試みることの可能性と意義を発表した。
(その他：③報告)				
1「土曜講座 2010年度活動報告」	単著	2010年3月	『立教女学院短期大学幼児教育研究所紀要』第12号、38-43頁。	地域のための成人および親子のふれあい講座の年間活動報告を写真とともにに行った。
2「土曜講座 2011年度活動報告」	単著	2011年3月	『立教女学院短期大学幼児教育研究所紀要』第13号、35-43頁。	地域のための親子のふれあい講座の年間活動報告を写真とともにに行った。

3「土曜講座報告 2014 年度活動報告」	単著	2015年3月	『立教女学院短期大学幼児教育研究所紀要』第16号	地域のための親子のふれあい講座の年間活動報告を写真とともにに行った。
(その他：④演奏会プログラムノート) 1「シュネーベル《ベートーヴェン・シンフォニー》 「カーゲル《フィナーレ》」	単著	2004年2月	『アンサンブル東風第5回定期演奏会—えっ、ベートーヴェン!?!—』プログラム, 2-3頁.	自身が所属し、企画運営に携わる楽団の定期演奏会の解説。ベートーヴェンをテーマにした2つの現代音楽のユニークな作品を解説した。
2「ゴープ《ワイマール》 「メノッティ《電話》」	単著	2007年2月	『アンサンブル東風第6回定期演奏会—こえ・うた・オペラ—』プログラム, 2頁.	声および舞台音楽をテーマにした現代音楽の作品を解説した。
3「シュニトケ《ディアローグ》 「リゲティ《ハンブルク協奏曲》 「クセナキス《タレイン》」	単著	2010年2月	『アンサンブル東風第8回定期演奏会—アンサンブルの妙技—』プログラム, 2頁.	現代音楽の難曲とされる作品の見所、聴き所を解説した。
4「バッハ(編:ヴェーベルン) 6声のリチェルカーレ~『音楽の捧げもの』より」 「シュネーベル《ワーグナー牧歌》」	単著	2010年2月	『アンサンブル東風第11回定期演奏会—生まれかわるクラシック~バッハ・モーツァルト・ワーグナー—』プログラム, 3-4頁.	クラシック作品を編曲した現代音楽を作曲家の意図や歴史的意義とともに解説した。
5「シュネーベル《réactions》 「シュネーベル《nostalgie》 「シュネーベル《Maulwerke》 「シュネーベル《Körper-Sprache》 「シュネーベル《Fünf Inventionen》」	単著	2010年12月	『eX.15 シュネーベル研究』プログラム, 4-9頁.	シュネーベルの音声や身振りのための音楽劇、器楽作品を分析し、作曲家の意図とともに見所、聴き所を解説した。

「シュネーベル 《Haydn-Destillate》」				
6「マヌエル・デ・ファリャ： ピアノと5人の奏者のための コンチェルト」	単著	2012年2月	『アンサンブル 東風 第13回定期演奏会—スペイン 音楽の潮流—』プログラム、 3頁.	スペイン現代音楽の特集として、20 世紀初頭を代表するファリャのコンチェ ルトを分析、解説した。
7「ファニー・メンデルスゾーン =ヘンゼル《5月の夜》《新 しい恋、新しい人生》 《南へ》」 「クララ・シューマン《なぜ 他の人にたずねるの》《美しさ のゆえに愛するのなら》《私は 暗い夢の中に立っていた》」 「アルマ・マラー《静かな 夢》《なま温かい夏の夜》 《私の父の庭に》」 「イザベル・ムンドリー《ノ ン・ムジュレ〜ルイ・クーブ ランと》」	単著	2013年2月	『アンサンブル 東風第14回 定期演奏会— 作曲家として 女性として—』プログラム、 2-4頁.	19世紀から20世紀にわたる女性作曲家 の作品を取り上げ、歴史的・社会的意 義とともに解説した。
8「ジョージ・ガーシュウィン： 子守歌」 「ダリウス・ミヨー：屋根の 上の牛」	単著	2014年2月	『アンサンブル 東風第15回 定期演奏会— ジャズ、タン ゴ、そして ・・・—』 プログラム、 2-3頁.	20世紀のポピュラー音楽系のジャンルの 作品を取り上げ、歴史的・社会的意 義とともに解説した。
9「シュネーベル：シューベル ト・ファンタジー」 「カーゲル：ブローケン・コ ード」	単著	2015年1月	『月刊都響 1・2月合併号』 18-20頁.	東京都交響楽団定期演奏会「川島素晴、 シュネーベル、カーゲル」のための曲 目解説として、シュネーベル、カーゲ ルのオーケストラ作品の成立や特徴に ついて解説した。
10「ルチャアーノ・ベリオ《作 品番号第獣番》」	単著	2015年2月	『アンサンブル 東風第16回 定期演奏会— 幽玄なる世界 へのいざない』プログラム、 2頁.	ベリオのテキストつきの木管五重奏曲 について、その内容と形式について解 説した。
11「ジャック・イベール《木 管五重奏のための3つの作 品》」「ジャック・イベール《デ イヴェルティスマン》」	単著	2016年2月	『アンサンブル 東風第17回 定期演奏会— 舞あそぶ音 に』プログラム、 2-3頁.	イベールの室内楽曲2曲についての様 式および形式、聴きどころを解説した。

12 「ダリウス・ミヨー：世界の創造」ダリウス・ミヨー：屋根の上の牛 「カールハインツ・シュトックハウゼン：ツァイトマーセ」 「カールハインツ・シュトックハウゼン：コントラプンクテ」	単著	2017年3月	『アンサンブル東風第18回定期演奏会—時代の潮流見ミヨーとシュトックハウゼン』プログラム, 3-6頁.	20世紀フランスとドイツの現代音楽をそれぞれ代表するミヨーとシュトックハウゼンの代表作について、その内容と形式、作曲の理念について解説した。
13 「モデスト・ムソルグスキー／ジュリアン・ユー：展覧会の絵」 「パウル・ヒンデミット：室内音楽第1番 Op. 24-1」	単著	2018年2月	『アンサンブル東風第19回定期演奏会—彩りの音へ』プログラム, 3-5頁.	中国出身作曲家ジュリアン・ユーによるユニークな《展覧会の絵》の編曲の様式と20世紀初頭の新即物主義を代表するヒンデミットの室内楽曲の様式における特徴について解説した。
(その他：⑤書評) 1 「絵本と一緒に呼吸をしよう」	単著	2010年12月	『母のひろば』(童心社)第559号, 3頁.	新刊紹介として自著『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』を著者の言葉により紹介した。
2 「新刊紹介：『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』」	単著	2012年3月	『日本音楽教育学会ニュースレター』第43号, 6-7頁.	新刊紹介として自著『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』を著者の言葉により紹介した。
3 「名作誕生エピソード 絵本の生い立ち：『まんまん ぱっ!』」	単著	2017年8月	『1・2・3歳』秋号(赤ちゃんとママ社)第151巻, 37頁.	自著『まんまん ぱっ!』の制作意図を著者の言葉により紹介した。
(その他：⑥講演会・ワークショップ) 1 『音の絵を描こう』子ども文化サマースクール美術創作	共著	2007年8月	愛媛県教育委員会主催。(愛媛)	音から連想される色や形、またはその反対における表現を愛媛県の小学生たちに長野ヒデ子と共同で指導した。
2 『アジア作曲家の今』アンサンブル東風第10回記念定期演奏会プレトーク	共著	2009年2月	アンサンブル東風主催。(東京)	アジアの現代音楽と作曲家をテーマにミャンマーの作曲家マウンマウン・ゾーティエとハープ奏者ザーザー・ウィン・マウンと対談した。
3 『仮面行列—音のワーク』	単著	2009年8月	風吹きからす主催。(熊本)	熊本県山鹿市の小学生たちと制作した仮面とともに、オリジナルのかけ声や音楽を作り、町へ出て仮面行列を行った。
4 『はじまりは歌—体と心をときはなして—』	単著	2009年9月	目黒幼稚園主催。(東京)	保育者の研修会として、歌唱をテーマに呼吸や声の大切さを、実践を交えて講演した。
5 『愛唱歌を歌いましょう—音楽の楽しみ』土曜講座	共著	2009年9月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。(東京)	成人向けの歌唱講座として、まど・みちお生誕100歳を記念し、《ぞうさん》《やぎさんゆうびん》などを解説、指導した。
6 『親子の教室—0、1、2、3歳とともに』土曜講座	共著	2009年10月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。(東京)	乳幼児の親子講座として、手遊び、わらべうたの指導、赤ちゃん紙芝居などの上演を行った。

7『レクチャーコンサート：ピアノの音色—ショパンからシェーンベルクまで—』	共著	2010年2月	立教女学院短期大学公開講座，立教女学院短期大学・杉並区教育委員会主催。（東京）	成人向けの公開講座として、ショパン、リスト、ドビュッシーのピアノ曲の特徴を比較し、時代背景とともに演奏を交えて解説した。ピアノ：巨瀬励起。
8『親子で遊ぼう—絵本とかみしばいと音楽と』土曜講座	単著	2010年7月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。（東京）	乳幼児の親子講座として、手遊び、わらべうたの指導に加え、絵本の読み聞かせの指導と紙芝居などの上演を行った。
9『音楽ワークショップ～ミュージックシアターを作しましょう！～』第8回保育者のためのステップアップ講座	単著	2010年8月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。（東京）	保育者のための研修会として、楽器による音遊びに基づくオリジナルの音楽劇の制作発表の指導を行った。
10『親子で遊ぼう—絵本とかみしばいと音楽と②』土曜講座	単著	2010年10月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。（東京）	乳幼児の親子講座として、手遊び、わらべうたの指導に加え、絵本の読み聞かせの指導と紙芝居などの上演を行った。学生たちによるオリジナルの音楽劇も上演した。
11『クリスマスによせて～聖歌を歌いましょう（オペラ・コンサート付き）～』土曜講座	共著	2010年11月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。（東京）	成人向けの公開講座として、クリスマスのための聖歌の指導とオペラ・アリアのコンサートを行った。
12『長野ヒデ子さん・長野麻子さん講演会』	共著	2010年12月	四つばの会・水戸市立図書館主催。（茨城）	絵本『すすすっはっはっ こ・きゅ・う』の紹介と読み聞かせ、子ども向けの呼吸と声のワークショップを行った。
13『ディーター・シュネーベル』eX.experiment	単著	2010年12月	eX.主催。（東京）	自身が監修を行った演奏会『eX.15 シュネーベル研究』のプレレクチャーとして、シュネーベルの作曲の徹底分析を行い、解説した。
14『ドイツ3大Bの世界—バッハ、ベートーヴェン、ブラームスのピアノ曲を聴く—』立教女学院短期大学公開講座	共著	2011年2月	立教女学院短期大学・杉並区教育委員会主催。（東京）	成人向けの公開講座として「ドイツ3大B」で知られるバッハ、ベートーヴェン、ブラームスのピアノ曲の特徴を比較し、時代背景とともに演奏を交えて解説した。ピアノ：菅野雅紀
15『ノルウェー音楽の潮流』アンサンブル東風第12回定期演奏会プレトーク	共著	2011年2月	アンサンブル東風主催。（東京）	ノルウェーの現代音楽の作曲家、パフォーマーのリサ・ディランを迎え、ノルウェー音楽の事情を何うともに対談した。
16『呼吸と声のワークショップ』	単著	2011年2月	立教女学院短期大学附属幼稚園天使園主催。（東京）	立教女学院短期大学附属幼稚園の園児を対象に絵本『すすすっはっはっ こ・きゅ・う』の紹介と読み聞かせ、呼吸と声のワークショップを行った。
17『音楽ワークショップ—呼吸ってすばらしい、声ってたのしい！—』立教女学院短期大学公開講座	単著	2011年2月	立教女学院短期大学公開講座，立教女学院短期大学・杉並区教育委員会主催。（東京）	成人向けの公開講座として、絵本『すすすっはっはっ こ・きゅ・う』の紹介と読み聞かせ、呼吸と声のワークショップを行った。
18『長野麻子講演会～呼吸って素晴らしい、声ってたのし』	単著	2011年6月	岡山県国公立幼稚園教育研	保育者の研修会として、絵本『すすすっはっはっ こ・きゅ・う』の紹介と読

い！すっすっはっはっ わっはっは～』			究会備北支部研修会，岡山県国公立幼稚園教育研究会備北支部主催．（岡山）	み聞かせ、呼吸と声のワークショップを行った。
19『親子で遊ぼう～わらべうたうたいーい～』土曜講座	単著	2011年6月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催．（東京）	乳幼児の親子講座として、月齢に応じたさまざまなわらべうた、遊びの指導を行った。
20『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』第8回外郎売の口上大会	共著	2011年7月	外郎売の口上研究会主催．（神奈川）	外郎売の口上研究会の子どもたちと共同で、絵本『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の読み聞かせとオリジナルの身振りによる舞台上演を行った。
21『ワークショップ：シュネーベル《マウルヴェルケ》』国立音楽大学集中講義（作曲特講B）	単著	2011年9月	国立音楽大学主催．（東京）	国立音楽大学の学生に、シュネーベルの音楽劇《マウルヴェルケ》の講義と上演指導を行い、学生たちによる制作発表を行った。
22『親子で遊ぼう～紙芝居と絵本～』土曜講座	単著	2011年10月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催．（東京）	乳幼児の親子講座として、紙芝居の上演と絵本の読み聞かせの他、動物を模倣するリトミックを学生たちのアシスタントのもとに行った。
23『センス・オブ・ワンダー～森の中で自然を感じよう～〈すっすっはっはっ〉呼吸はいのちの音』	単著	2011年12月	藤沢市みどりいっぱい市民の会主催．（神奈川）	藤沢市の新林公園内で、子どもたちのための呼吸と声のワークショップを行い、その後、身体や戸外の空気を感じながら散策を行った。
24『〈すっすっはっはっ こ・きゅ・う〉長野麻子ワークショップ』	単著	2012年2月	三鷹市文庫連絡会主催．（東京）	乳幼児および小中学生の参加者を対象に、絵本『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の紹介と読み聞かせ、呼吸と声のワークショップを行った。
25『絵本とうた～読み聞かせとことば、リズムの楽しみ』立教女学院短期大学公開講座	単著	2012年2月	立教女学院短期大学・杉並区教育委員会主催．（東京）	親子向けの公開講座として、言葉の音とリズムの楽しさをテーマにさまざまな絵本や歌を紹介し、読み聞かせや歌唱指導を行った。
26『スペイン音楽の潮流』アンサンブル東風第13回定期演奏会プレトーク	共著	2012年2月	アンサンブル東風主催．（東京）	スペインの現代音楽の作曲家ファビアン・パニセッコを迎えて、20世紀以降のスペインの事情について伺い、対談を行った。
27『ことばと音楽と呼吸』宇都宮共和大学子ども生活学部平成24年度第5回子育て支援研究センター公開講座	単著	2012年12月	宇都宮共和大学主催．（栃木）	成人向けの公開講座として、音楽における言葉や音とその表現における呼吸や声の大切さを講演し、ワークショップを行った。
28『作曲家として、女性として』アンサンブル東風第14回定期演奏会プレトーク	共著	2013年2月	アンサンブル東風主催．（東京）	韓国の現代音楽の作曲家林志宣と日本の金子仁美を迎えて、作曲家としての女性の生き方や音楽観を伺い、対談を行った。
29『親子リトミック～てくてく期』	単著	2013年4月～2014年3月（毎月1回開催）	喜連川児童センター主催．（栃木）	1～2歳の乳幼児とその親を対象としたリトミック講座。即興によるオリジナルのピアノ伴奏に合わせて動いたり、わらべ歌や単純な打楽器を用いて遊んだりした。
30『あかちゃんと遊ぼう』	単著	2013年6月	いわむらかずお絵本の丘美術館主催．（栃木）	乳幼児向けの音楽と遊びの講座。美術館の館内で絵本原画の鑑賞、絵本の読み聞かせ、歌や楽器の音遊びを行った。

			木)	後、屋外に出て、自然の音や匂い、色を感じる体験をした。
31『呼吸と声、音楽でつなぐ子どもとのふれあい』	単著	2013年6月	さくら市たいよう保育園主催。(栃木)	保育園の保護者会の講演として、家庭で楽しめる音楽として、呼吸や声の表現による遊びを、実践を交えて紹介した。
32『親子参加講座：呼吸のワークショップ』	単著	2013年10月	瀬戸市役所主催。(愛知)	親子向けの呼吸と声のワークショップを乳幼児の部と小学生の部において、行った。
33『ジャズ、タンゴ、そして・・・』アンサンブル東風第15回定期演奏会プレトーク	共著	2014年2月	アンサンブル東風主催。(東京)	ジャズ・サクソ奏者 MALTA と作曲家松下功を迎え、ジャズを始めとするポピュラー音楽の演奏やその聞き方について伺い、対談した。
34『親子リトミック』	単著	2014年4月～2014年10月(毎月1回開催)	RASH主催。(栃木)	在住する栃木の地元の育児サークルの親子向けのリトミック講座。1～2歳の乳幼児を対象に、即興によるオリジナルのピアノ伴奏に合わせて動いたり、わらべ歌や単純な打楽器を用いて遊んだりしている。
35『長野ヒデ子と長野麻子 絵本ライブ&講演会「エホン ごほん ぱっくん」』なつよこいこいおはなし会	共著	2014年7月	青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会・青森県立美術館主催。(青森)	夏休みの親子向けのイベントとして、絵本『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の紹介と読み聞かせ、呼吸と声のワークショップを長野ヒデ子と共同で行った。
36『やってみよう！声遊び・音遊び』第12回保育者のためのステップアップ講座	単著	2014年8月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。(東京)	保育者のための研修会として、保育現場で役立つ呼吸と声のワークショップを行い、楽器による音遊びとオリジナルの音楽劇の制作発表を指導した。
37『わらべうたとリトミック』土曜講座	単著	2014年9月	立教女学院短期大学幼児教育研究所主催。(東京)	3歳～5歳の幼児と保護者を対象とした親子講座。わらべうたによるふれあいと動物を模倣するリトミックを学生たちのアシストのもとに行った。
38『あかちゃんと遊ぼう』	単著	2015年6月, 8月9月, 11月	いわむらかずお絵本の丘美術館主催。(栃木)	乳幼児向けの音楽と遊びの講座。美術館の館内で絵本原画の鑑賞、絵本の読み聞かせ、歌や楽器の音遊びを行った後、屋外に出て、自然の音や匂い、色を感じる体験をした。
39『ワークショップ：シュネーベル《マウルヴェルケ》』	単著	2015年7月, 9月, 10月	国立音楽大学主催。(東京)	国立音楽大学の学生に、シュネーベルの音楽劇《マウルヴェルケ》の講義と上演指導を行った。
40『ワークショップ：呼吸と声から生まれる音楽』	単著	2015年10月	公益財団法人音楽文化創造主催。(栃木)	「FORUM in 国際音楽の日宇都宮 2015」のゲスト講師として、呼吸と声の発声および表現のワークショップを行った。
41『舞あそぶ音に』アンサンブル東風第17回定期演奏会プレトーク	共著	2016年2月	アンサンブル東風主催。(東京)	尺八奏者の藤原道山と作曲家松下 功を迎えて、日本の伝統音楽と現代の音楽の演奏の比較について伺い、対談した。

42『本で紡ぐ・カラダで奏でるお泊まり会』平成28年子どもゆめ基金助成活動 音読・朗読絵本の読み聞かせ・身体運動プロジェクト2016	共著	2016年11月	NPO 法人南薩のまなざし. (鹿児島)	絵本の読み聞かせと身体表現をテーマにした幼稚園および小学生向けの講演とワークショップを長野ヒデ子ほか3名の講師とともにいった。
43『時代の潮流—ミヨーとシュトックハウゼン』アンサンブル東風第18回定期演奏会プレトーク	共著	2017年3月	アンサンブル東風主催. (東京)	ミヨーとシュトックハウゼンの人柄、作品、演奏についてピアニストの大須賀かおり、ホルン奏者の堂山敦史、作曲家の松下 功を迎え対談を行った。
44「赤ちゃん絵本に求められるものとは??—『まんまんぱっ!』の制作現場から—」	単著	2017年6月	赤ちゃん絵本研究會主催. (東京)	自著『まんまん ぱっ!』の制作意図と赤ちゃん絵本としての新たな意義を言葉と音楽、視覚の関係性の視点から、読み聞かせの実演を交えて発表した。
45『彩りの音へ』アンサンブル東風第19回定期演奏会プレトーク	共著	2018年2月	アンサンブル東風主催. (東京)	作曲家小坂咲子、松下 功を迎えて、両作曲家の作品の特徴と聴き所について伺った他、ジュリアン・ユー、ヒンデミットの作品の特徴と聴き所について解説を行った。
46『音楽は感情の言葉～呼吸と声で表現しよう』オルフ音楽教育研究会例会	単著	2018年6月	日本オルフ音楽教育研究会主催. (東京)	オルフ・シュールヴェルクとの関連から、作曲家シュネーベルの音楽作品と思想、そこから触発を受けた長野麻子の音楽活動である呼吸と声の研究、絵本作品を紹介、解説し、呼吸と声の表現のワークショップを行った。
(その他:⑦メディアにおける長野麻子についての取材記事、放送など)				
1「テーマは『呼吸』命の実感を絵本に」		2010年12月	『毎日新聞』(毎日新聞社)	絵本の紹介コーナーにおいて、『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の書評とインタビューが掲載された。
2「ときめきインタビュー:長野ヒデ子さん、長野麻子さん」		2011年4月	『NHKラジオビタミン』(NHKラジオ第1)	『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の紹介を兼ねたラジオ生出演によるインタビュー。放送中に読み聞かせを行った。
3「すっすっはっはっ こ・きゅ・う」		2011年9月	『声のアトリエ』(FM横浜)	『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』の著者による朗読とインタビューがラジオにて放送された。
4「ママも子どもも気持ち落ち着く!『す〜っ!は〜っ!』親子で一緒に深呼吸」		2012年11月	『edu(エデュ)』(小学館)1月号,63-69頁.	インタビューとイラストによる解説つきの呼吸と声のワークショップが掲載された。
5「のびのびかぞく」		2013年4月	『クローヨン』(クレヨンハウス)5月号,103-109頁.	長野麻子と夫岩村康一朗、娘優李、義両親いわむらかずお、岩村善子の3世代による家族のインタビューと肖像が掲載された。
6「『歌とリズム』を使った語りかけの魔法」		2014年1月	『AERA with Baby』(朝日新聞社)2月号,26-27頁.	家庭内での乳幼児との遊び方として、歌やリズムを使った言葉かけ、音楽を紹介したインタビューが写真による解説つきで掲載された。

7「愛で世界を変えていくママ・パパ102人！」		2016年4月	『クーヨン』 (クレヨンハウス)4月号, 25頁.	活動内容、未来の社会の予想、子育てで大事にしていることについて寄せたメッセージが写真とともに掲載された。
8「赤ちゃんと声に出して」		2016年12月	『愛媛新聞』 (愛媛新聞社)	新刊『まんまんぱっ!』の創作にまつわるインタビューが写真とともに掲載された。
9「子供の頭が良くなるおもちゃは？」		2017年1月	フジテレビ 『100人のススメ!』	正月特番にコメンテーターとしてVTR出演した。子どもに薦めたいおもちゃとして「カプラ」を推薦、その魅力についてコメントを行った。

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。